

当社製品をご採用いただきましてありがとうございます。

本製品は、長時間のご使用に充分耐えるあらゆる条件を含み、設計・製作いたしました。

高性能を維持し、長寿命を保ち続けるためにも、ご使用前に必ずお読み下さい。

●本取扱い説明書と合わせて、カタログもご参照下さい。

● 交流定電流バイポーラ電源装置 SLBP

- はじめに SLBPシリーズは、コンデンサのリップル試験用に特化した交流定電流電源です。
スイッチング方式を採用することで高精度を維持し、小型・軽量化を実現させました。
出力容量は、225VAを確保しております。

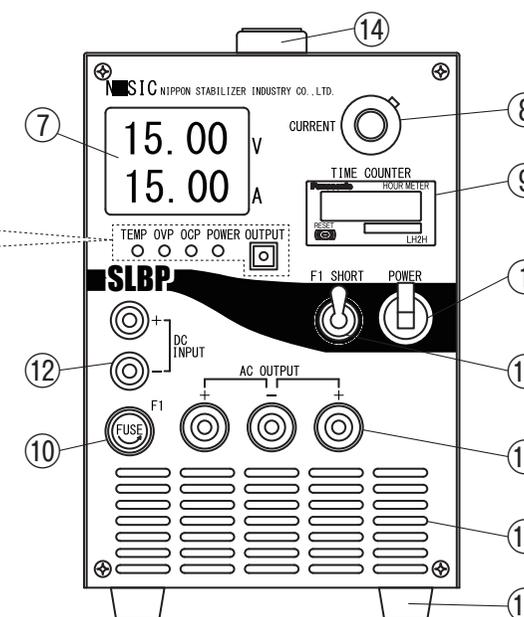
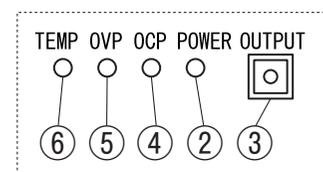
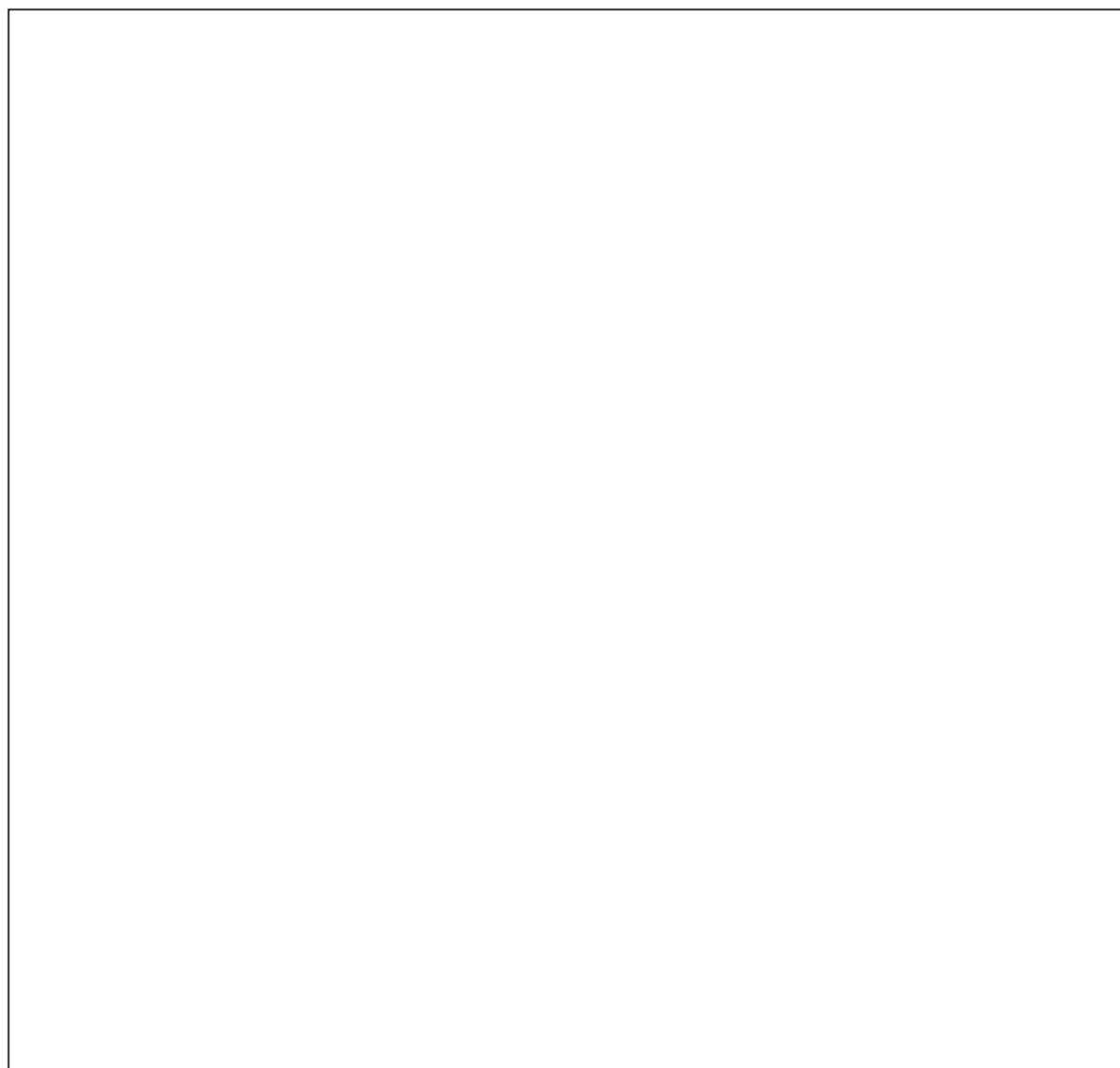
■型式の説明

SLBP225-

① ② ③

- ①出力電流
10=10A 15=15A
20=20A 25=25A
30=30A
- ②T=10KHz
H=100KHz
- ③H=アワーマータ付き

■オプション取扱説明



1 フロントパネル説明と操作方法

- 1-1** 入力NFB

ブレーカを投入することにより本電源装置が運転状態になります。
- 1-2** POWER表示灯(緑色LED)

ブレーカをONすることにより緑色LEDが点灯します。
- 1-3** 出力スイッチ

1回押すごとに、ON/OFFを繰り返します。
出力ON時は、スイッチ中央の赤色LEDが点灯します。
- 1-4** OCP(過電流)表示灯(橙色LED)

出力電流が定格の約120%を超えるとLEDが点灯し、出力が停止します。復帰は、原因除去後、入力電源 **1-1** を再投入してください。
- 1-5** OVP(過電圧)表示灯(橙色LED)

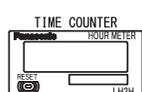
出力電圧が定格の約120%を超えるとLEDが点灯し、出力停止します。復帰は、原因除去後、入力電源 **1-1** を再投入してください。
- 1-6** TEMP(過温度)表示灯(橙色LED)

電源内部が温度上昇するとLEDが点灯し出力停止します。復帰は、原因除去後、入力電源 **1-1** を再投入してください。
- 1-7** 出力指示計器

デジタルパネルメータ 3桁1/2
精度±0.2%±1digit
上段=出力電圧
下段=出力電流
- 1-8** 出力電流設定用10回転ポテンショメータ

ダイヤルの目盛で、おおよその電流値の設定ができます。

1-9 アワーメータ(型式により装着)

 本装置への通電時間を表示します。アワーメータ中のRESET釦を押すとカウントがゼロになります。

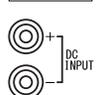
1-10 負荷へ供給する直流バイアス印加回路、保護用ヒューズ

 ヒューズは0.2Aを挿入しています。

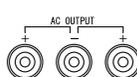
1-11 F1 SHORTスイッチ

 万が一、直流バイアス印加回路の保護ヒューズが溶断した時の緊急用スイッチです。

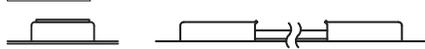
1-12 DC入力用端子(赤色=+ 黒色=-)

 負荷へ供給する直流バイアス印加回路を接続する端子です。最大許容値はDC600V 0.2Aです。

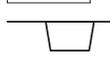
1-13 AC出力用端子

 出力線を接続するための端子です。

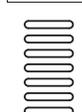
1-14 持ち手



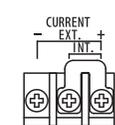
1-15 カラー足

 カラー足の高さは12mmです。ケース本体とはネジ(M3)で固定しています。左右100mm 奥行400mm

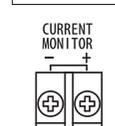
1-16 フロント空気孔

 空気吸入孔です。

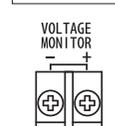
2-2-2 AC出力電流リモートコントロール用端子

 外部制御を行う場合は、「INT.」のショートバーを外し「EXT.」の「-」と「+」間に制御電圧を入力してください。制御電圧は、DC0~10Vにて、出力電流0~定格電流を制御します。入力インピーダンスは約10KΩです。

2-2-3 出力電流モニタ

 出力電流0~定格電流を、DC0~10V信号で出力します。出力インピーダンスは約1kΩです。

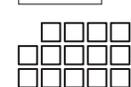
2-2-4 出力電圧モニタ

 出力電圧0~定格電圧を、DC0~10V信号で出力します。出力インピーダンスは約1kΩです。

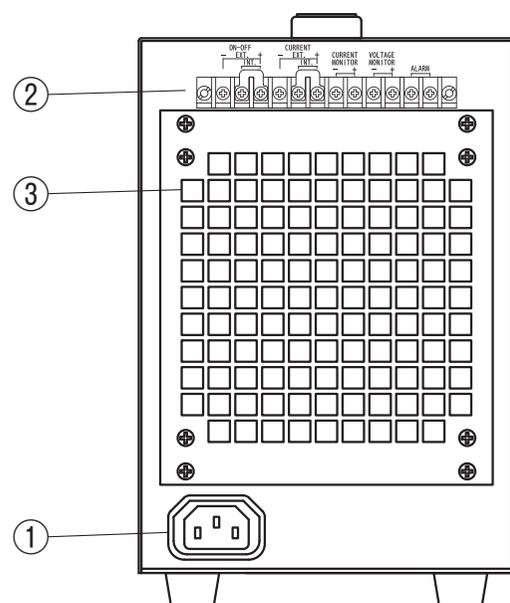
2-2-5 アラーム

 電源装置に異常が発生した時、一括1a接点信号を出力します。
<内部リレーの仕様>
定格負荷 : AC125V 0.5A、DC30V 2A
定格通電電流 : 2A
接点電圧の最大値: AC250V、DC220V
接点電流の最大値: 2A

2-3 冷却ファン排気孔

 排気孔の周辺10cm以上の空気流通路の確保をお願いします。ACファンモータを使用しています。寿命は、使用頻度・周囲環境にも大きく左右されますが4~5年で交換をお勧めします。

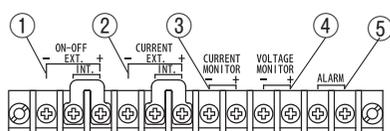
2 リアパネルの説明と操作方法



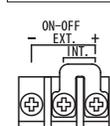
2-1 AC入力

 入力接続用インレットです。付属の入力コードを接続してください。付属コードはAC100V用です。

2-2 端子台説明と操作方法



2-2-1 AC出力のリモートON-OFF用端子

 外部制御をおこなう場合は、「INT.」に装着のショートバーを外し、「EXT.」の「-」と「+」に制御信号を入力してください。接点は、クロスにて出力発生、オープンにて出力停止です。開放電圧は約15V、制御電流は約1mAです。

3 接続方法

3-1 入力線の接続

1. 入力線を接続する時は、本電源装置の入力NFBがOFFであることを確認してください。入力電源はAC100V±10%、50/60Hz共用です。
2. 入力線は、付属のケーブルをご使用ください。最大入力電流は、スタンバイ時約1.5A、全負荷時約8Aです。

3-2 出力線の接続

1. 出力線を接続する前に、入力NFBがOFFであることを確認してください。
2. AC出力用端子との接続は必ず圧着端子を用いて、緩みの無いよう確実に接続してください。
3. 高周波のため、出力線は8スケアー以上を用い、できるだけ表面積の大きな電線をご使用ください。出力周波数は、10kHzまたは、100kHzです。
4. 出力端子と負荷との配線距離は極力短くしてください。高周波のため、電線のインダクタンスにより負荷に十分な電流が供給できないことがあります。

5. 電線のインダクタンスと浮遊容量で共振した場合、異常電圧が発生し、装置を破損させる恐れがあります。充分ご注意ください。
6. ターミナルのネジ径は、M8です。圧着端子は、Y型端子をご使用下さい。

3-3 信号用ケーブルの接続

1. リモートコントロールの信号線を電源装置背面のリモート端子台に接続してください。信号用電線は0.5スケアー以上の電線をご使用ください。なお、ノイズの影響を極力削減させるためにシールド線のご使用をお勧めします。端子台のネジ径はM3、適合電線は、最大1.25スケアーです。接続は圧着端子を用い、緩みの無いよう確実に接続してください。

4 運転方法

- 出力線および負荷の接続を確認してください。
- 出力電流設定用10回転ポテンシオメータ **1-8** がゼロ(反時計廻りに一杯)になっていることを確認してください。
- 入力NFB **1-1** を投入して下さい。入力表示灯 **1-2** が点灯します。
- 出力電流設定用10回転ポテンシオメータ **1-8** のボリュームを時計廻りに回転させ、目的の電流値に設定して下さい。
この時、出力電圧の表示 **1-7上段** が定格電圧を超えるようであれば、負荷インピーダンスが過大です。負荷や、出力線の長さや太さを確認してください。
- 直流バイアス電源を印加して下さい。
【4. 5. 項の順番については入れ替わっても、動作に影響はありません。】

5 注意事項

- ①運転中に万一・負荷等に異常が発生したときは、入力ブレーカをOFFにして下さい。
- ②電気知識のない方の単独・配線／接続を禁じます。配線／接続される時は、電機(電気)の専門職の指導及び管理により作業を行って下さい。
- ③導電部に触れますと感電します。場合により人命を損なう場合があります。また、後遺症が発生することも考えられます。
- ④入力線、出力線の接続を取り違えますと、重大な故障の原因になります。
- ⑤動作周囲温度／湿度は、0～45℃／30～80%RHです。結露は絶対禁物です。
- ⑥電解コンデンサとファンモータを使用しています。経年変化による劣化が発生します。設置条件、使用頻度により異なりますが、4～5年程度での交換をお勧めします。
- ⑦設置・使用場所は通風の良い、直射日光の当たらず、近くに熱源のない床面の安定した所で設置・ご使用下さい。
- ⑧振動・衝撃を与えないで下さい。

- ⑨当電源装置のアフターサービスは、お客様の費用による日本国内・当社指定工場への持込とします。外国でのサービスをご希望されます場合、如何なる理由であっても旅費運賃・宿泊費・その他の費用・経費を申し受けます。

6 点検・校正・修理について

修理・点検・障害(故障)などが発生した場合、下記『営業技術部』へご連絡下さい。障害の状況をご記入頂く用紙は、当社のホームページからダウンロードができます。

ホームページアドレス
<http://www.nippon-stabilizer.com/>

障害状況をお知らせいただくことにより、安く(修理費用)・早く(修理納期)ご返却が可能になります。また、御社のお名前、ご担当名、部署名、ご連絡先の電話番号、FAX番号は必ず、お知らせ下さい。E-mail Addressをご利用頂きますと早く・詳しく連絡が可能です。

お問い合わせ・ご連絡は、
下記の営業技術部へご連絡下さい。

N■SIC
日本スタビライザー工業株式会社
営業技術部
TEL:06-6882-1051 FAX:06-6882-1057
フリーダイヤル:0120-1978-39

点検・調整・修理等で、お送り頂く場合
下記の兵庫工場へお送り下さい。

N■SIC
日本スタビライザー工業株式会社
兵庫工場
兵庫県丹波篠山市野中523-3
TEL:079-594-3566 FAX:079-594-3577
IP電話:050-3531-2201

※お問合せは、営業技術部へご連絡ください。
工場への直接お問合せは、お断り致します。
あしからずご了承ください。